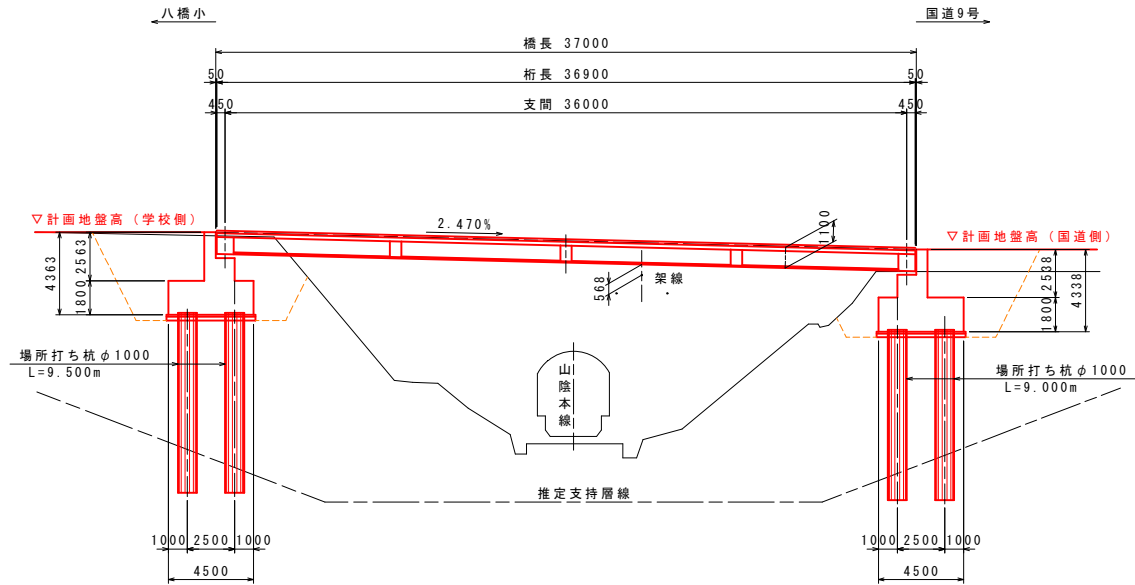
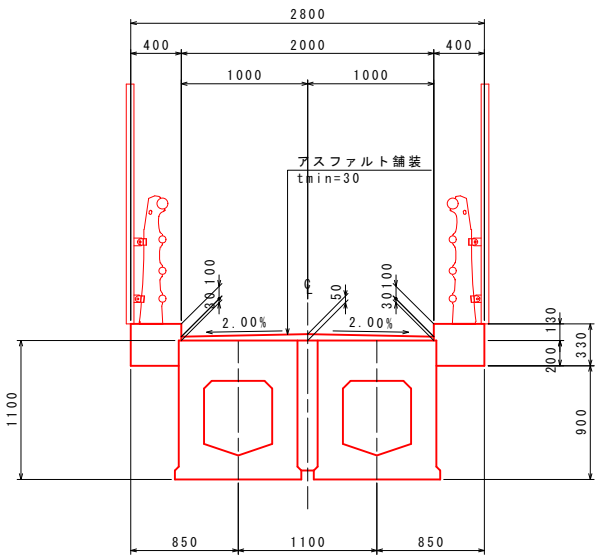


ごりん橋 計画一般図

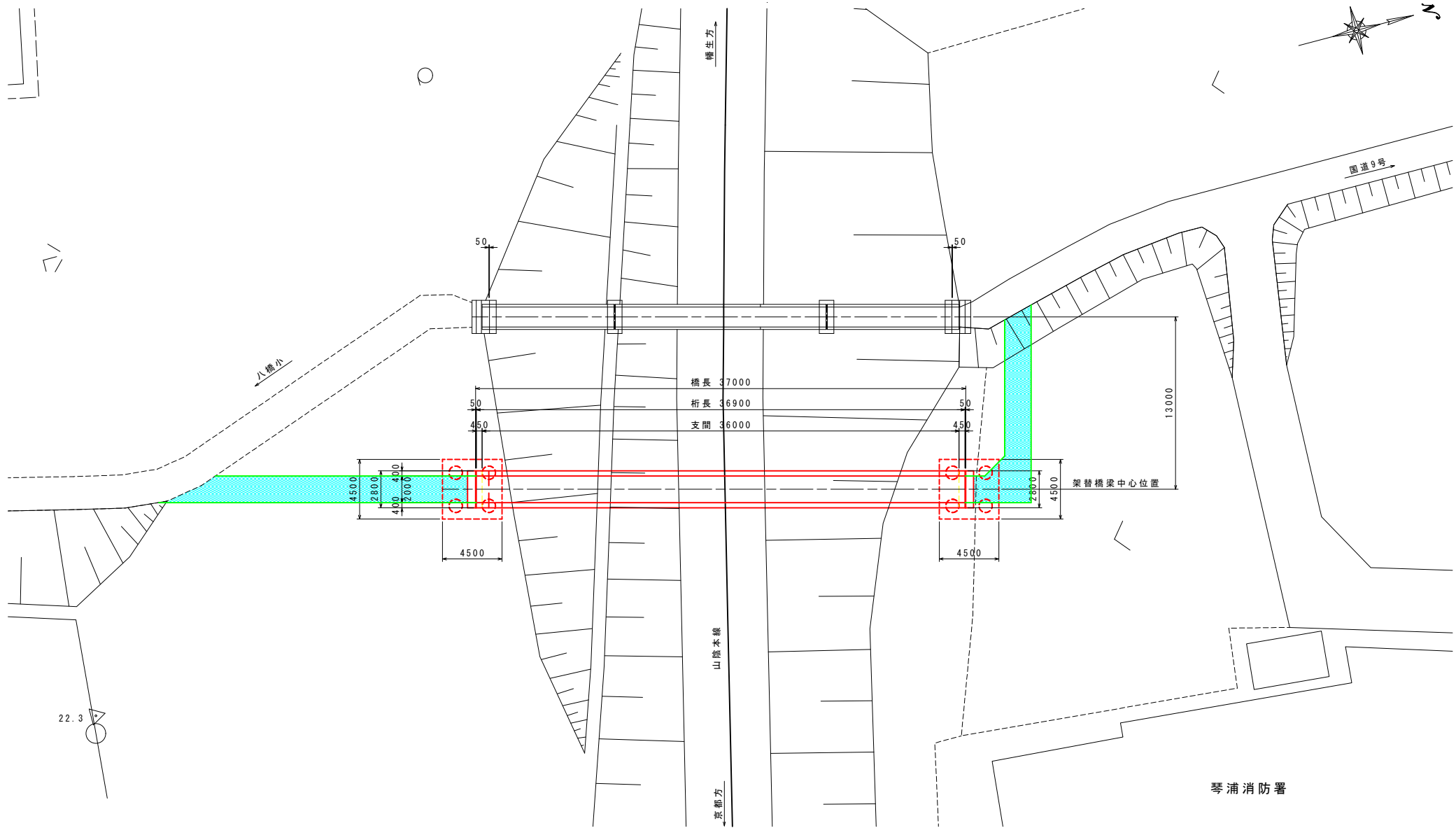
側面図 S=1/200



断面図 S=1/30



平面図 S=1/200

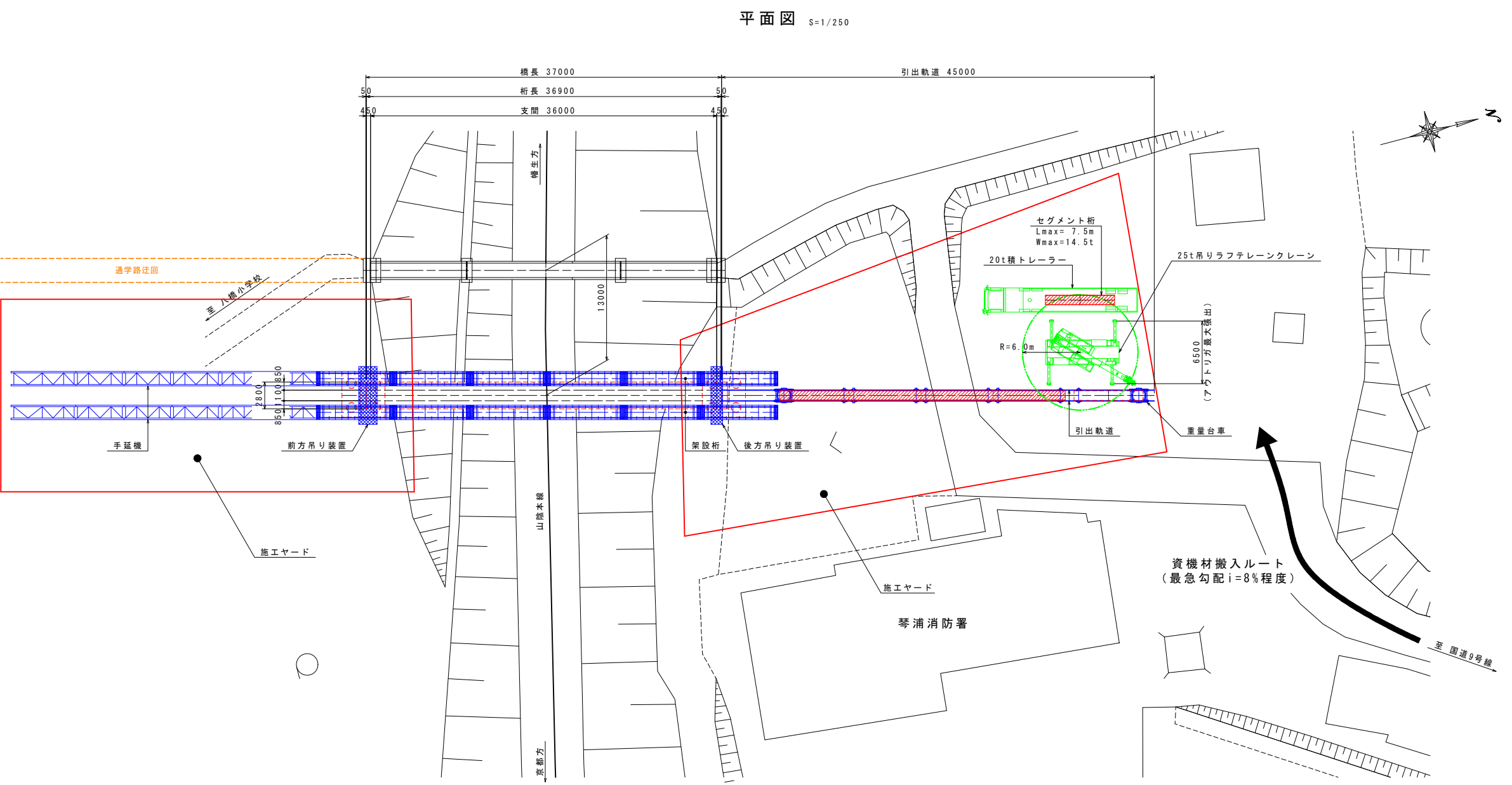
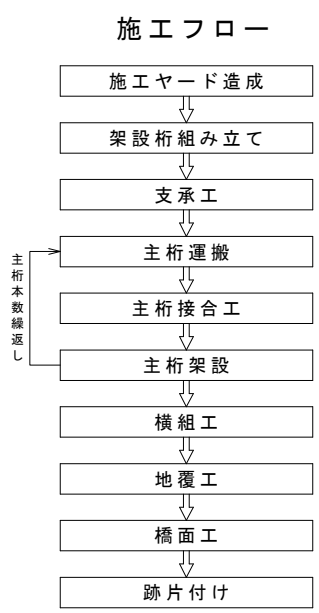
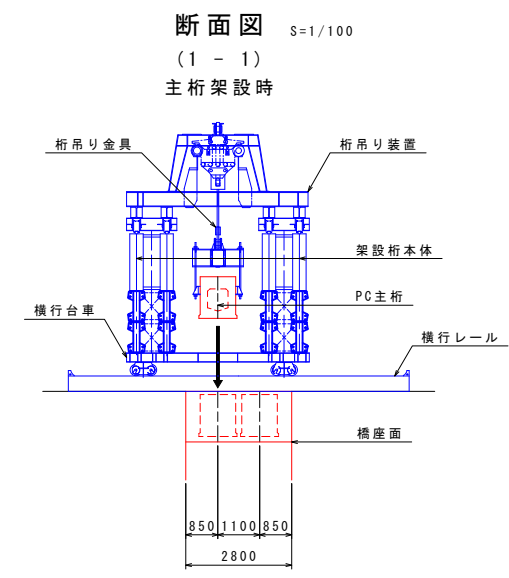
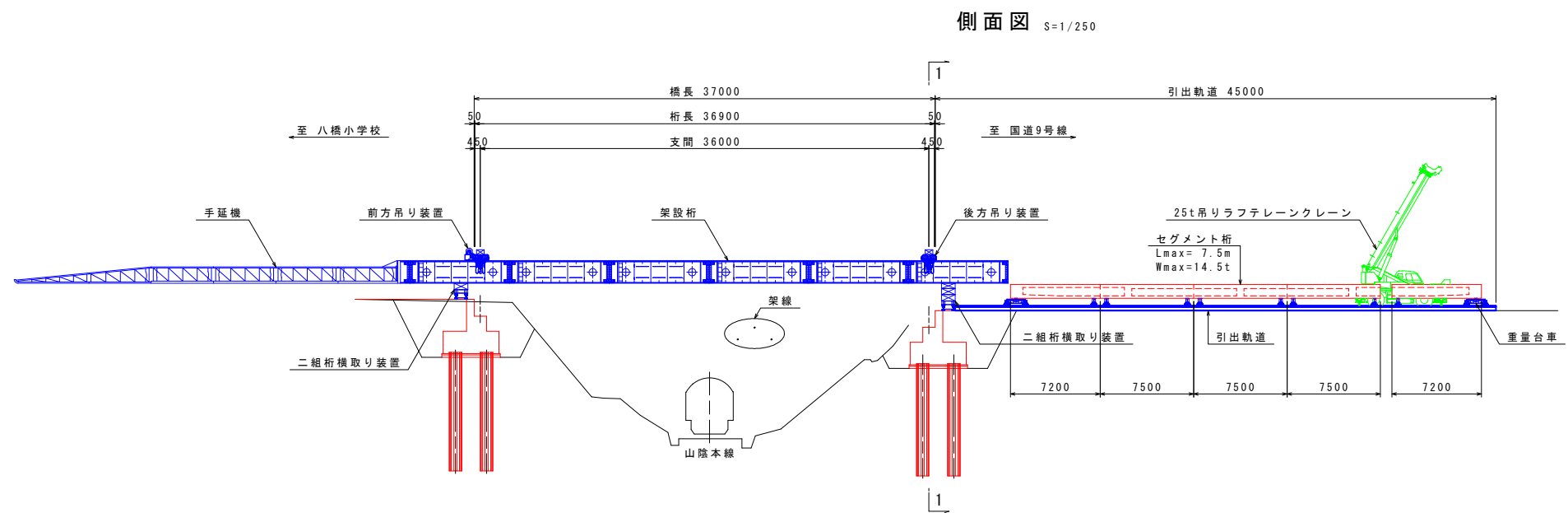


設計条件

橋梁名称	ごりん橋 (仮称)
道路規格	---
設計速度	---
荷重	群集荷重
橋長	L=37.000m
支間長	L=36.000m
有効幅員	W=2.000m
斜角	A1, A2: $\theta=90^{\circ}00'00''$
平面線形	R=∞
縦断勾配	i=2.47%
横断勾配	i=2.00%
舗装	アスファルト舗装 tmin=30 mm
構造形式	上部工 PC単純ポストテンション方式中空床版橋 下部工 A1, A2: 逆T式橋台 基礎工 A1, A2: 場所打ち杭
使用材料	上部工 コンクリート $\sigma_{ck}=50$ N/mm ² 使用鋼材 縦) 12S12.7, 横) 1S17.8 下部工 コンクリート 橋台: $\sigma_{ck}=24$ N/mm ² 鉄筋 SD345 基礎工 コンクリート $\sigma_{ck}=24$ N/mm ² 鉄筋 SD345
耐震条件	重要度区分 B種の橋 地盤種別 II種地盤 設計震度 レベル1: (橋軸) kh=0.21, 直角kh=0.21
適用示方書	道路橋示方書・同解説 I～V (平成29年11月)

路線名	八橋小通学路線		
図名	計画一般図		
位置	東伯郡琴浦町八橋		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 業中の内		
令和	年度施行	琴浦町	

ごりん橋架設要領図(参考図)



- 架設要領
1. 国道9号側橋台の背面に施工ヤードを造成する。
 2. 施工ヤード内に引出軌道を設置する。
 3. 施工ヤードにて架設桁を組み立て、引き出し所定の位置に据え付ける。
 5. 搬入ルートより、25t吊りラフテレーンクレーンを搬入しアウトリガ最大幅にて据え付ける。
 6. 工場で製作されたセグメント桁をトレーラーにて搬入しクレーンにて吊上げ、 ゆっくり旋回し引出軌道上に取下さす。
 7. 引出軌道上にてPC桁を製作し、架設桁下まで引き出し、横取りし所定の位置に据え付ける。
 8. 6～7を繰り返し、PC桁を架設する。

能力表 25t吊りラフテレーンクレーン (単位:t)

作業半径	ブーム長			
	9.35m	16.4m	23.45m	30.5m
5.5m	17.8	15.0	12.0	8.0
6.0m	16.3	15.0	12.0	8.0
6.5m	15.1	15.0	11.5	8.0

注1: アウトリガ最大張出 6.500m
注2: 定格総荷重は、吊り具重量とフック重量を含む値を示す。

路線名	八橋小通学路線		
図名	架設要領図(参考図)		
位置	東伯郡琴浦町八橋		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 業中の内		
令和	年度施行	琴浦町	